

平和の旅 下野の紅葉と温泉の旅 24人が参加、歴史遺産と自然、温泉と餃子etc.満喫

今年の「平和の旅」はおとなりの秋の下野(しもつけ)・栃木路を訪ねる旅。11月12～13日、土浦9条の会、土浦平和の会などから24人が参加しました。

前月の台風被害からの復旧状況など懸念されましたが、幸い両日とも絶好の好天に恵まれ予定の全旅程を満喫しました。紅葉の色のつき具合については「赤色が少ない。異常気象の影響なのか」などの感想が出されました。



地下30メートルの幻想空間！大谷資料館

最初の訪問地は宇都宮市にある大谷資料館。ここは、大谷石の地下採掘場跡で、平均深さ30m、最深部60m、野球場が1つすっぽり入る大きさです。太平洋戦争末期には地下航空機工場(中島飛行機)とされた場所で、現在は歴史資料の展示、美術館、コンサートホールとして利用されています。幻想的な空間の広がり、一同感嘆の声が上がりました。

続いてはすぐ近くの大谷寺。弘法大師が岸壁に刻んだという平安時代の石仏群が見所です。シルクロードの世界を彷彿させます。同じ場所にある高さ27mの平和観音は太平洋戦争の戦死戦没



大谷寺



平和観音

者の供養と、世界平和を祈ってつくられたものです。健脚自慢の3人だけが観音様の顔近くまで登りました。

名物の餃子をたっぷり食した後は、栃木県立博物館で地質時代から現在にいたるまでの栃木県の歴史、文化、美術・工芸品、動植物

栃木県立博物館



などの自然などをたっぷり鑑賞、大いに学びました。

この後一行は宿泊の川治温泉・伊藤園ホテルズ柳閣本館へ。男鹿川と鬼怒川が合流する渓谷に佇む温泉郷で、食べ放題飲み放題のバイキングで腹を満たした後、さらに部屋での二次会は夜半近くまで盛り上がりしました。

2日目最初の訪問地は川治ダム。堤高140mはアーチ式コンクリートダムとしては国内4位の威容を誇ります。背景の紅葉がまぶしい。

(裏面に続く)



川治ダムと水系の案内板に見入る

主な旅程(見学・鑑賞地)

1日目(11月12日)

☆大谷資料館・地下採掘場跡(宇都宮市)

☆大谷寺と平和観音(宇都宮市)

☆「餃子来らっせ」で昼食(宇都宮市)

☆栃木県立博物館(宇都宮市)

宿泊：川治温泉「柳閣本館」(日光市)

2日目(11月13日)

☆川治ダム(日光市)

☆龍王峡(日光市)

☆「松月庵」で昼食(那須烏山市)

☆島崎酒造・どうくつ酒蔵(那須烏山市)

☆山あげ会館(那須烏山市)

☆烏山和紙会館(那須烏山市)

(「平和の旅」続き)

次の訪問地は絶景龍王峡(りゅうおうきょう)です。2200年ほど前、海底火山によって造られた火山岩が、鬼怒川によって浸食されてできた峡谷。絶壁、滝、奇岩が連なります。ここでも遊歩道で健脚発揮のグループと早々にギブアップのグループの気力・体力の差が出ました。

那須烏山市に移動し、おいしいおそばで腹ごしらえをした後は、清酒東力士の島崎酒造、さらに那須烏山市近代化遺産のどうくつ酒蔵へ。この洞窟は第二次世界大戦末期に戦車を製造するために建造された地下工場の跡です。戦車製造することなく終戦を迎え、島崎酒造(株)の酒蔵に変身しました。清酒の熟成に最適な環境が保たれることが利点。100m3本のたて坑と60m5

本の横抗が広がる地下空間です。

続いて、山あげ会館では、ユネスコ無形文化遺産の山あげ祭りを紹介する展示を楽しみ、最後に烏山和紙会館を見学して全日程終了。次回への期待を膨らませて帰路へ。



山あげ会館

烏山和紙会館



絶景の龍王峡



どうくつ酒蔵入口

東海第2原発再稼働の是非を問う

県民投票を実現させるための
協力者(受任者)をおおいに広げましょう
まずはあなたが受任者登録を!

前号(第332号)で紹介したとおり、「県民投票の会」と再稼働反対の立場を明確にしている平和の会とは、県民投票の実現という目標の一致点で共有することが可能で、ともに運動を進めることが県民の願いにも応えることになる。との基本方針から、来年1月からの署名開始、6月議会への提出をめざして、受任者の登録運動を進めています。

「協力者(受任者)申込書」は現在幅広く配布されつつありますが、まだ届いていない方は平和の会までお問い合わせください。

香り豊かな平和(勝沼)ワインを

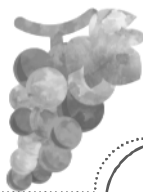
恒例の 甲州勝沼ワイン(2019)です

☆ベリーAヴィンテージ (赤ワイン)

☆甲州ヴィンテージ (白ワイン)

ともに1,700円

申し込みは
お近くの平和の会理事へ



新聞意見広告賛同のお願い 朝日新聞朝刊に全1ページ広告

12月7日付、朝日新聞朝刊に掲載予定
テーマは「憲法9条生かして平和で人間性
豊かな社会」

賛同者は 個人1人 1□1,000円
団体 1□3,000円

「申込書」は理事ルート、ニュース配布ルート等で配布中です。または、理事宛お声かけください。

東海第二原発は絶対にダメだ

村上達也 元東海村長がおおいに語る

11月10日、霞ヶ浦医療センター講堂で村上達也元東海村長・脱原発首長会議代表の講演会が開かれました。主催はニコエコデイコ(核戦争を防止し平和を求める茨城医療人の会)。

村上氏は、①なぜ無理して東海第二原発を再稼働させようとしているか、②問題だらけの東海第二：次の原発事故は首都圏でとなる、③3.11時の東海第二原発の状況、をはじめJCO事故や福島原発事故、日本の原子力政策など縦横に語り、再稼働反対を力強く訴えました。

反核医師の会の大前比呂思氏が原子力、核関連施設の健康への影響について報告しました。



【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 「平和新聞」(毎月5、15、25日発行)月額400円

